

## 復興交付金事業計画

計画名称 普代村復興交付金事業計画
計画策定主体 岩手県・普代村
計画期間 平成23年度～平成27年度
計画区域 普代村全域 ※計画区域、区域の現況及び事業を実施する場所がわかる図面を添付してください。
計画区域における震災による被害の状況 岩手県普代村は、東日本大震災により震度5弱を記録し、その後最大21.5mの津波が来襲し、村の沿岸部の黒崎や、太田名部、力持、白井、沢向、堀内各地区の漁港が壊滅的な被害を受けた。 死者・行方不明者は8人（内7名は村外）、負傷者は4人（村外での負傷）におよび、建物全壊は約180棟であった。さらに当村の中心的な産業である水産業に係る港湾施設・漁港施設・魚市場・水産加工施設・倉庫等は壊滅的な被害を受けた。とりわけ、太田名部地区においては港湾施設・漁港施設・魚市場・水産加工施設・倉庫等の建物が集中しており、そのほとんどの建物が消失するなどその被害は壮絶なものとなった。また、太田名部地区では集落排水施設も津波により機能不全に陥った。震災により被災した事業所は2事業所あった。 なお、本村は、主要な道路の寸断により、情報収集や安否確認に著しい支障が生じた。さらに、震災時には、緊急車両等も道路の寸断により迂回路を使用しなければならなかった。普代村の復興にはこれらの区域も含めた復興が必要となる

### 震災の被害からの復興に関する目標

東日本大震災により本村の沿岸部は壊滅的な被害を受けました。漁業者を中心とした被災者の生活支援、復興に優先して取り組み、住民生活を一日も早く回復させ、住民の安全と安心を取り戻す必要があります。このため、ふるさと普代の再生とさらなる発展に向け以下の目標を掲げ、一体的な復興に取り組みます。

#### ① 産業・経済の再建

・水産業の再生基盤の復旧を進めるとともに、被災事業者などの生産基盤の復旧や、新たな産業の振興を図り、雇用の創出や活力ある産業構造の構築を推進します。また、三陸沿岸の自然環境を資源とした観光産業の再生を図り、その観光産業を軸とした経済サイクルの早期復旧を目指します。

#### ② 住民生活の再生

・被災住宅等の再建などの復旧を進め、社会生活基盤の整備を図ります。また、これまで培われてきた助け合いの精神を財産に、住民一人ひとりが、被災後の健康や生活に不安なく、互いに支えあう地域づくりを推進します。

#### ③ 災害に強い村づくり

・今回の震災の体験を教訓に、日ごろから災害に備え、情報伝達手段や避難所などを適正に確保するなど、災害に強く安全で安心して暮らせる地域社会を形成します。また、住民の防災意識の高揚を高めるため、自主防災組織などによる地域の防災力を強化するとともに、災害時の要援護者に対する支援体制の整備、関係機関などとの連携強化を推進します。

対象事業の詳細 様式 1-2、1-3、1-4、1-5

基金設置の有無・基金設置の時期

(基金設置主体：普代村 ) / 無 ( )  
(基金設置の時期：平成 24 年 3 月 )

※該当を○で囲んで下さい

復興ビジョン、復興計画、復興プラン等 ・村ホームページで公開

※特定市町村又は特定都道府県が独自に、域内の復興に関する構想、そのために必要となる施策等を取りまとめた文書を作成している場合には、その文書を添付してください。